

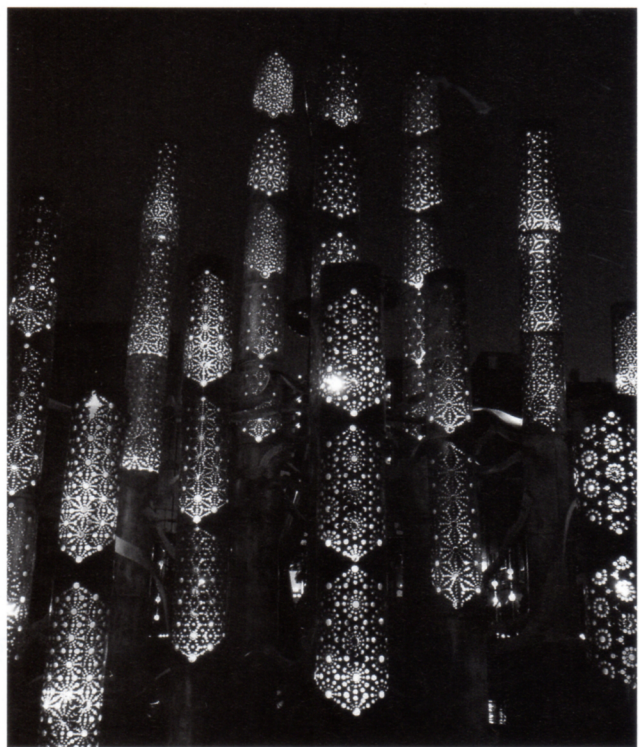
伊藤潤一 (いとうじゅんいち) / 書家

2007年3月、一人の書家との出逢いをきっかけに、筆と墨を使った表現活動が始める。ストリート時代を経て、現在では創作活動をはじめ、店舗看板やパッケージデザインなども数多く手掛け、他ジャンルとのコラボレーション、ライブパフォーマンス、トークライブ、個展などカタチに捉われないスタイルで活動を展開。2013年からは活動の舞台を海外にも広げ、国境を越えた文化の力を発信中。フランス、イタリア、スイス、台湾など、世界主要都市にも実績があり、台湾では世界三大博物館のひとつ「国立故宮博物院」より、日本人で初めて国際正会員として認定される。その後、2015年開催のイタリア・ミラノ国際博覧会へも参加し、2016年には主要国首脳会議 (G7伊勢志摩サミット) 配偶者プログラムにてディナー会場の演出も手掛ける。



三重のアーティストによる コラボレーション。

川渕 皓平 (かわぶちこうへい)
/ 竹あかり演出家



暗闇に灯す、ひとつのあかり。こころにともる、優しいなにか。朽ちてゆく竹林の竹を切り出し、美しい竹あかりとして、再び命を吹き込む。目にするすべての人の心に優しいなにかが灯るよう 唯一無二の竹あかりを生み出し続ける。2007年に熊本で竹あかりに出会い、創作活動を始め、2013年に三重で“canaarea”を立ち上げ。東海地方を中心に、祭りや音楽フェスなどの会場演出を手がける。TOYOTA ROCK FESTIVAL、中津川 SOLAR BUDOUKAN、道市場、Love Save the Dream、橋の下世界音楽祭、宙音～sora oto～などの音楽フェスや、伊勢志摩サミットおもてなし竹あかり制作指導、各地ライブハウス・クラブのデコレーション、店舗用のランプや、自宅用のオーダーランプの制作など、たくさんの場所へ竹のあかりを届けている。